

## 第4回防災道の駅やちよ整備検討会 会議録

会議名 第4回防災道の駅やちよ整備検討会  
開催日時 令和4年3月14日(月) 午前9時56分～午前10時55分  
開催会場 八千代市役所 別館2階 第1・第2会議室  
議 題 (1) これまでの振り返りについて  
(2) 整備スケジュールについて  
出席者名 宇於崎会長, 小川委員, 石川委員, 出竹委員, 大澤委員, 鈴木委員,  
【民間有識者】 株式会社やちよリーダーファーマーズ 代表取締役 白井 良夫,  
一般社団法人八千代市観光協会 会長 杉山 智基,  
八千代商工会議所 副会頭 飯田 明彦,  
八千代市自主防災組織連絡協議会 会長 佐藤 寛  
【オブザーバー】 千葉国道事務所 松原計画課長,  
千葉県防災政策課 渡辺政策室長,  
千葉県道路計画課 横田副課長  
【事務局】 檜垣危機管理監  
危機管理課 萩原課長, 竹内副主幹, 一色主査補, 寺沢主事  
農政課 余田課長, 周郷副主幹, 三橋主査  
公開又は非公開の別 公開  
傍聴人定員及び傍聴人数 定員6人/傍聴人5人  
所管部課室名 総務部 危機管理課  
047-421-6716

### 1 開会

### 2 会長挨拶

### 3 議事

#### (1) これまでの振り返りについて

資料1の内容について, 八千代市 檜垣危機管理監より説明がされた。

佐 藤: 災害時における避難者数は400名を想定しており, 浄化槽対応型の防災トイレを使用する想定であるが, 水の確保はどのように考えているのか。また, 併せて仮設トイレの整備を考えているのか。

危機管理監: 想定避難者数を考慮すると1日1人当たり飲料水3リットル, 生活用水30リットルの合計33リットルを基準として, 3日間で約40m<sup>3</sup>の水が必要となる。そこで, 約20m<sup>3</sup>の貯水槽の水とペットボトルのほか, 不足する分の生活用水を井戸等で補うことを考えている。

また、想定避難者数に耐え得る数の防災トイレの整備を検討予定であるが、不足が生じた場合は、市で備蓄をしている仮設トイレを活用することとなる。

白井： 資料1の23、24ページ「防災施設の配置イメージ案」に「オープンスペースとして活用」と記載されているが、現テナントは当該スペースを利用できないという考えか。

また、現在、観光協会が河津桜のイベントを行っているが、道の駅の駐車場とトイレが渋滞している。現状のトイレを拡充するスペースには限りがあるため、災害時を想定したトイレ棟の整備をしていただきたい。

危機管理監： オープンスペースの使用方法等については、テナント様と調整をしていく予定である。

トイレについては、現行のスペース、数の不足が課題であるため、トイレ棟などを整備する必要があると認識している。

### (2) 整備スケジュールについて

資料2-1の内容について、八千代市 檜垣危機管理監より説明がされた。

大澤： 資料2の3ページ「今後のスケジュール」の国道16号アクセス道路における双方向の出入口整備の可否について問いたい。

また、八千代ふるさとステーション、やちよ農業交流センターの両施設において数年間かけて整備をしていくこととなるため、今後とも国からのご助力いただきたい。

国計画課： 国道16号アクセス道路における双方向の出入口整備の可否については、警察との調整が必要となるが、実現を目指していきたい。

杉山： 八千代ふるさとステーション、やちよ農業交流センターの両施設において開催されたこれまでのイベント類は、主に農業振興を目的としたものであったが、防災道の駅の整備計画の中で平常時の観光事業に関してはどのように考えているのか。

市農政課長： 平常時の観光事業にも力を入れていきたいと考えているため、観光部局と協議をして尽力する。

資料2-2の内容について、八千代市 檜垣危機管理監より説明がされた。

### (3) その他

会長： 本日の第4回をもって防災道の駅整備検討会は最後となるが、「行ってみよう道の駅～農と遊びと防災と～」の整備コンセプトに基づいた整備イメージを共有できたと考える。今後は、事務局に整備コンセプト及び整備計画を作成いただくとともに、具体化に当たっては、本検討会参加の皆様と情報共有いただきたい。

また、ソフト面の整備に関しては、令和4年度中にもできることから取組みを

図っていただきたい。

危機管理監： 整備コンセプト及び整備計画の完成版を今年度中に取りまとめて市長へ報告する予定である。現状の案では修正等が必要な点があるかと思うので、委員の皆様にご確認いただきたい。

佐藤： 今後、数年をかけて道の駅を整備していくこととなるが、整備が完了していない段階に災害が発生することを懸念している。

災害発生時に道の駅や農業交流センターの職員が利用者に対してどのような対応ができるのか。今後、協議などを行っていく中で方針が決定すると思うが、自主防災組織連絡協議会としても有事の際の協力をさせていただきたい。

市危機管理課長： 本検討会の成果として作成する防災道の駅やちよの整備コンセプト及び整備計画については、事務局で取りまとめを行い、市長に報告する。